

第16回 大中遺跡まつり

# 「わくわくドキ土器! Let's go おおなが!!」

- ▶日時 11月4日(土) 午前11時～午後6時  
雨天時は11月5日(日)に順延
- ▶場所 播磨大中国古代の村(大中遺跡)

大中遺跡まつりは昼から夕方まで、たくさんのイベントがあります。昨年度に引き続き、『秋のまつり＝収穫祭』としてイベント盛りだくさんで開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。

## 古代生活体験コーナー

(受付午後1時～午後3時)

貫頭衣かんとういを着て、大中遺跡の中を探検しましょう。まが玉作りや塩作り・イノシシ狩り・火おこし体験・住居探検など、好きな体験を選んでコースを回ります。選べるコースは全部で5通りあります。小学生や幼稚園のお子さん対象のイベントです。ぜひ親子で参加して、弥生時代に暮らしていた人たちの生活の様子を体感してみてください。



## 弥生村

(午前11時～午後6時)

『弥生村』と名付けて、古代米と呼ばれる赤米や紫黒米で作ったクッキーやうどん、蒸しパンなどの食事・販売コーナーや、輪投げ、ゴム鉄砲作り、土器焼き、わら細工などの体験コーナーがあります。今年は、町内・町外の食品業者の協力をいただき、古代の味を楽しむコーナーを新設しました。たくさん食べてたくさん遊んでお楽しみください。



## ステージ

(午前11時～午後6時)

火おこし競技や古宮の獅子舞・播磨太鼓・星輝心せいしんに加え、今年は太鼓とドラムの絶妙なコラボレーションを奏でて活躍されている、倉敷天領太鼓の山部兄弟の演奏もご覧いただけます。

また、新企画として復元住居のライトアップを予定しています。フィナーレまでお見逃しなく。



## 募集中!!

- ☆ 各種模擬店(食べ物大歓迎!)
- ☆ 運営ボランティア
- ☆ パレード参加者

引き続き募集します。詳細はチラシをご覧ください。また、実行委員会へお気軽にお問い合わせください。締め切りは10月13日(金)です。

▶申し込み・問い合わせ  
大中遺跡まつり実行委員会  
郷土資料館 ☎079(435)5000  
生涯学習グループ ☎079(435)0565  
[http://www.town.harima.lg.jp/event\\_iseki](http://www.town.harima.lg.jp/event_iseki)

# 県立考古博物館(仮称)

## ～内部を探る～

平成19年秋  
開館予定です



▶問い合わせ 兵庫県教育委員会事務局考古博物館開設準備室  
☎078(362)3376  
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kokohaku-bo/>

### エントランス展示



間もなく工事を着工する大中遺跡公園に先駆けて、昨年の11月から、播磨大中国古代の村の南側で始まった博物館建設工事も10月で10カ月目に入ります。  
今月は、来年秋の開館をひかえ、建物の内部や展示計画についてご紹介します。  
**エントランス展示**  
モノ語り・兵庫

はるか昔から、長い間土の中に眠っていた考古資料が、エントランスであなたを出迎えます。本物もつ迫力を感じながら、モノの声に耳をかたむけると、目の前に昔の人々の暮らしがよみがえります。

### ガイダンス展示



足もとに埋まる昔の遺跡を掘りだそう。大人から子どもまで、すべての人が自らの手で歴史のナゾを解くようごびを経験できます。  
**ガイダンス展示 体感**  
考古学ワールド

図書、映像、実物資料など兵庫県兵庫県の考古学関係資料を備え、レファレンスコーナーであなたの疑問に答えます。豊富な映像を大画面で楽しめる映像ブースも備え、「学ぶ」「調べる」「遊ぶ」の全てに対応した兵庫県兵庫県の考古学情報発信基地です。

### テーマ展示



県内各地の遺跡から出土した考古資料と、最新の研究成果に基づき製作したジオラマ・模型・映像が、あなたの想像力を刺激し、ナゾ解きの時空をこえた旅へと導きます。  
**収蔵展示 考古の森を歩く**

兵庫県内各地から出土した膨大な資料を保管する収蔵庫の一部を常時開放し、展示室には並ばない考古資料も公開します。

人・環境・社会・交流。4つのテーマで、考古学が兵庫県兵庫県の歴史のナゾを解き明かします。

**テーマ展示**